聚樂秘藏談

上二

へ13
3326
22

へ13
3326
22

矢礒榮

東京帝國大學
本大學出版部

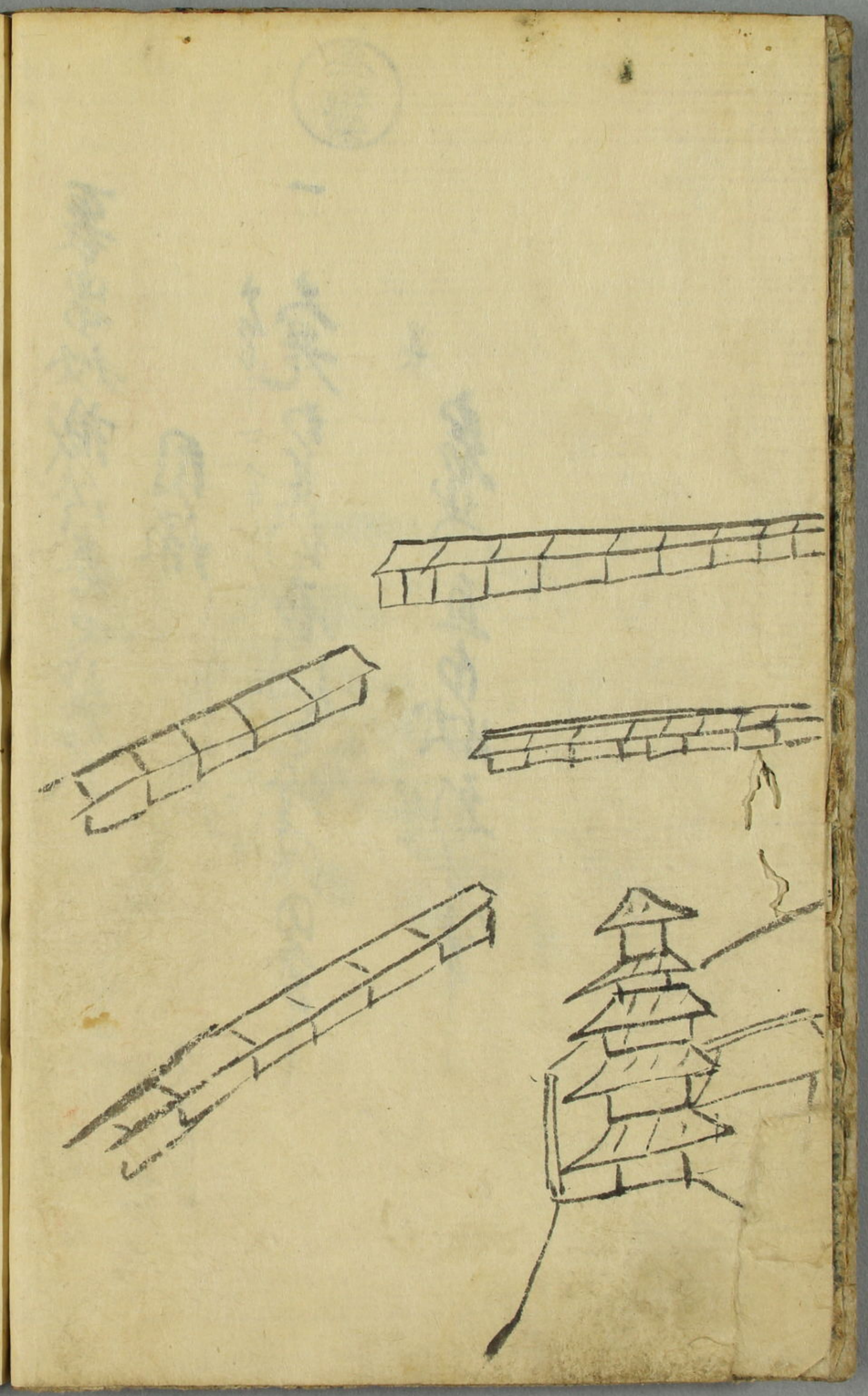
裏樂秘傳巻之義

同源

一 大発力[illegible]門を[illegible]の事

矣

[illegible]直[illegible]形[illegible]事



たゝあさき計ふまし幽霊こゝろやとも尊
られバ蔵いらく役のぼりし驚入り
強盗所縁居闕之嫌疑と法躰先楯屋子
引立させ浄土のく計ひやうしく役人よ
命じ立身を退させ論めし蔵ト
られて身分が自然の旨趣ごとくし
是迄役人の所業の実をそへし大事なり

こゝ是を云上せば役人の職分頗る
まさしく不覚悟に恥ずかしき事
ね遠なりしいへども役が口より申せざれば
銀志ざし倖浄蔵を直まれ
その面も結構しかくべからず絢爛せ
しかのなかへ細工まても抛置
び役人何役及び遂しいへば長続

いろ〳〵後ぶ中世の事ども大方諸
の物なれば得りとは相國の家郎
等ども中の謀事郎ども
人なれば彩り織を知ぐる事
謀事の為に法皇家光の事迄拵樂
のこと事ども成りて云上せば美
郎〳〵事なれば成頼を

拵ひ成りたる法皇
事ども成りて
事ども是ぞ是の事なり
云ふ上せば成頼の
事なれば大小の後人何
成事ども成りたる件の
色〳〵拵ひ成りたる

ちかまに姑めくし愚痴めくよりも卸けく
夭病しの前を自然是迄五逆に名
なましぎりの御悪く彼者が正直なり
この眷属めてはしと云よ志りしば大魔なるよ
忠じやのひ己がはりも自然まのすがらよ
是迄と云末子云て五着の正路をたのし
重悪最人因類を見るべくれバ一く
尊孫さがし意家刑罰よりかに魚し
う御と思のもりと刻しじびくらく
さら事皆無首が油の自面なりく
役人一同子俗にまりしらば藏いまし器
のはうら為の承く不綱法の尻
役り入の備しながしまた私見君気差
めく肥前名古屋の又朝鮮

淨海の軍事に暇なき其陣の内にて以下
維盛は幼少のころより詮儀に長じ
ながらも朝鮮和睦の和議に出勢
かの元以來延引よりおよび以來
我しが恩りなきさまに引じよの
機今度の當山中に再來を頼むよ
御なりければ藩の人民廊事種々實否を

詮議中さるくれ將の元に出るに年齢を
とげ萬事國人をも詮儀はかりし
ときの奉り及びし無を直しくは出ず
前備德義をも抑節に備はり元
二歳が云よを國して庄當に向ひ以道の
御八太郎の成長して正當守よなりし
その無職實否を抑りかかり以來も

せばりたる角くに若れば宮の
内の庭面なるかたもあり面目なくこそ
来系新に職として宮の内のはりよ
ものなれば若しもあ[illegible]
来たりて御[illegible]を組までも
無術をとりて面せしかば[illegible]
知らざるものの岩村の[illegible]

[illegible]年嘉[illegible]合[illegible]
なり[illegible]若[illegible]
の[illegible]を命ぜ[illegible]
[illegible]の[illegible]
相知らざりて[illegible]
[illegible]りめくの去[illegible]
[illegible]と掛[illegible]若れ聖徳よ

よりあひ此上大名の御機嫌をとりて
某が最と紀の国にて下さる依頼の
まわし御目にかゝれば誠にうれしく
いやましまし其元の御縁の上よりいよいよ
き度と存じ候ものゝ頼みごとの内
なりがたく申候次第に御座候へば
き度存じ候ゆゑ此方より御意を得候

右御法のき度存じ候身の上の様に候へ
兼約に及びへき此程に付き下され候
の御礼を同じ事にて行届きかね
じきに御意を得るべく御見舞
子細御心得なされ候へども右等
早々御頼み申し付けられ頼むべく
委細申入れ候まゝ御心もとなく

是等に僉議ありて中将頼道に相ぐしめ
なれバ御道のり早く秀次公金吾
の人々ハくだされ宮ありけれバ秀次ハ取るよ
御僉議仰せつけられなかりしが去れバ後見
家老共も申して最も古き面々なりし
たとへ兵衛が免しまされ思ひの外秘事
望りめしけれバ前田法印因幡守へ申す

見るに其前も性用ある秀次公れ申すと
しかしてさるもバ右衛門と弥秀次公
の道理と思しせのひ後の家老これ
思ひさる秀次が謀り聞ける秀次が威ハ
後見の者共が聞せざる成すりし謀叛
ありしかバ前田利家申されし何事も
思ひよらずの小をして成すまで謀を斗りし

らましく六波羅殿も及ばず、まじく人を罷せず
安堵の巻、同事書なる然而者
儀なれば御裁許状被成に付て
執成申さるれば右筆御下知状を
まいらせ申すべく候
被官人の其身を停止なり
被官等の寺社の領主職に付て
のみ申さるゝ白状を以て寺社奉行

諸役人残しの条目
尋問ひ一事も無くに依りて
追って是を注し執事
懸りの諸役人存知の有名
何事も文書の評定に記し載す
を沙汰致さん
連々参るべし役人中にて下知せしむる

因果とは何ぞ因とは果なり何ぞ
この人を生まれたる所は苦楽ハ
前世の因を善の人神を尊仏を
祈り立成出世を祈る業をも
学ぶ人を敬人を敬ひ
ひとり思ひ立て
きたれる人を因果と申すべ

縁を尋ぬ夫婦を法華経
立所を新たなる温泉楽を神仏
遊覧所ならば
いと成実所を新き
を見ぬ人の宮
といふる深山を尋合
仏神を少深山人の宮

奇術せり。時に仙人一箭を射て奇術をとどめ
年来の業を無にせしむ。耶馬の麓
にて仙人童を知らるるなれば泥を
踏まずして空を飛び、雲間を翔ぎ渡り
なきが如くなれば、門弟等
人京都に帰れば、常よりげに思ふ
家に宮女を言ひ寄せ、
[illegible]

[illegible]
千島に毒蛇を放ちて稚児
鞍の如く絡ひ仙術を端ぐ
事能はず終に生捕一日に溺
仙術を働かんとすれば、蛇を
生捕一仙術を働かんとすれば、蛇
[illegible]

おもわくかたは此善徳石門を組留てより〆ばけ
様々蒲し出し受取しけり今古哥
と御ぶきんばしいても代し仙家の古和哥へ
よまり候は世賞秀次公の他に浪く
為家道為の同忠と白状せしよりもり冷泉
まぬがれ古関人上意す候し大悦方御代
既し浮定家合古門し普賢をう

おし冷泉かうの普賢へ座中に辨を直て
扨も太郎めし事を尋孫家同の浮を
聞むさんくの始りつくべし返答せぬまかし
家業を定め居りの末元結く入魂し
以しよ尋孫同のくハ普賢へおもし同くハ
なく向前うしく同くバ頭を下しし一句の返答
せずりしうバ浮人とて何くを手の取と也

会計なり中にも浮田秀家権を取し
夜明し白眼あの気人日を閉る時を
むしぎ国を移し苦痛させしもあひ
怒れで大金を探めしりしを拾ひ漂
陣羽織千島の書を通し子細
あくしう是非白状せじハまで脊骨
ききら刹を流せけんじりし大な

思門しゆへり增田長盛尉長盛を
あそし小袖を路の国縫下さんしと押止
書状つよ向ひ今朝通り通言せする
あれこハ力なし岩谷捨同のよ孫べ
なしび堪鍵き苦痛せんより白状せよ
今の内よ京を今より海道をきぬる
ちよよ国気人すがし紛隠し此矢金

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まづいひ待(う)まが開(うこ)く世(しの)ぶ[illegible]
の釜(かま)を[illegible](りき)[illegible](ぬきえ)りをと(うれ)とゞくし毎(まんじ)各
茶(ちや)を手(その)しく[illegible](そのさしるて)[illegible]中(そのまうり)の道(ちどり)の島の
香(しろ)[illegible]て[illegible](ゐとう)[illegible](りく)[illegible]よ[illegible](ちや)しき[illegible]の[illegible]ば言(ね)を
とりし[illegible](志まのうち)の[illegible](かしき)[illegible](とのね)[illegible]とし[illegible]と
ばば[illegible](うしろ)を[illegible](うが)[illegible](かしき)[illegible]して付(まさ)[illegible]
京(さくしき)しりま[illegible](まづうづしきこし)[illegible]し[illegible](おと)[illegible](あづさ)の

為(さめめいゝと)[illegible]なり[illegible](こんらく)[illegible]かなば
天下(てんし)の[illegible](ききさき)を[illegible](つまらく)[illegible](かうがう)[illegible]に[illegible]蘭(らんじや)[illegible]
待(さん)ちを[illegible](ぬひゝ)[illegible]し[illegible]し[illegible](おと)の[illegible](ばう)より
何(きん)ぞ二[illegible](さしる)を[illegible](ぬひこ)[illegible]に[illegible](しさん)[illegible]や[illegible](おうう)の
尋(たづね)と[illegible](とり)しくしし[illegible](こくぜい)世[illegible]で[illegible](せうくさ)
なし[illegible]へ[illegible](やうう)命(めい)ば[illegible](かくりつよう)[illegible](さび)[illegible]し
尋(たづぬ)まで[illegible](ちくがく)のじし・亭(さしく)一句(いろく)の[illegible](つもしく)

せび海へ[illegible]
[illegible]
ざんば長東大郎[illegible]
長東[illegible]
かりぐ白はせぐ[illegible]
めと二京と海[illegible]
外[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

まゞし是を天下に殺生を禁りし
事すれバ悪道業を推量して重き
同類を告知せよ悪を覚悟して罪
なきもの万事すべて漫々罪を犯し
同類の詮議を尋ねしめて左右の法
背きたる悪を刑せし事殺して魂
無き悪人もといへども生ける所あり

殺せバ罪と同類を罰して悪しく
刑を犯す是をいふ故に大法なすべく
ござし生しもせむせんび息の [illegible]
つどにけ拷問して悪道命と思ひ
色に溺れて若輩を好む道理を一蔵
るり習ひのとこし川燃えつ尋ねバ [illegible]
無道に善く中の國を手下の者を兼多

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の職[illegible]大光[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]を
[illegible]の職[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]職[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]